

令和2年度(2020)事業者向け 放課後等デイサービスこじろう 自己評価表

2021年3月

		チェック項目	評価	課題	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○	活動に応じて、部屋を使い分けています。屋外、室内活動を組み合わせ、密にならないように工夫しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○	適切な人員配置で運営しています。男性職員が少ないのが長年の課題です。活動内容や環境設定を考え、活動できるようにしています。	
	③	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	△	室内はバリアフリーにはなっていません。玄関へのアプローチはスロープ、手すりが付いています。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	担当者だけではなく、他の職員にも意見をもらい、業務改善の参考にしています。スタッフ個々が年間の目標を決め、代表・副代表との面談時に振り返りをしています。	
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	アンケートを集計・まとめ・振り返りをして業務改善につなげます。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	第三者評価を行っていません。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	法人全体の研修(月1回)、外部研修はスタッフ各自できる限り参加し、資質向上に努めています。こじろうに特化した研修ができていません。今後の検討課題です。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	サービス等利用計画や相談員からの情報、面談、本人の様子、本人からの聞き取りなどで個別支援計画を作成しています。毎日の支援終了後、記録を振り返り職員それぞれが状況を把握し、次の支援につなげるよう工夫しています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	△	標準化されたものはないが、事業所独自のフェイスシートを使用している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	スタッフ交替で活動プログラムを立てています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	ある程度固定化したプログラムが良い場合もあると考えられるので、個人の特性に応じた活動プログラムの作成をしている。(プログラムを固定化しないように工夫する人、ある程度固定化したプログラムにする人)	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	本人やご家族の方からの要望を聞き、支援している。よりきめ細やかな支援ができるよう努力する。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	個人の特性に合わせて個人の活動、集団の活動を取り入れられるよう計画を作成している。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	活動前の打ち合わせでその日の流れ、確認事項を共有している。また、その日の活動日程を各自携帯し、いつでも確認できるようになっている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	△	その日のうちに振り返りできる日には行う。また活動前には前回の内容を確認し、当日の活動につなげています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	細かく記録を書き、スタッフ間で情報を共有している。	

関係機関や保護者との連携	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	△	半年に一度、モニタリングをおこない計画の見直しをしています。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援をおこなっているか	○	いくつかの活動を組み合わせて活動を行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	会議が行われる際はその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○	学校へ迎えに行ったときの申し送りや、電話連絡等で情報共有している。ご家族からも連絡をいただくようにしています。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、対象者がいない	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	必要に応じて許可を得た上で情報共有をしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	どちらも言えない	卒後の事業所からの依頼がなければ、こちらからは声がかけにくいと思われる。必要に応じて許可を得た上で情報提供をしています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	受けていない	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	機会はありません	近くに小学校や児童館があるので遊びに行く活動を取り入れるように工夫しています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○	管理者が自立支援協議会の子ども部会に出席しています。
保護者への説明責任等	㉘	日頃から子どもの状況を家族と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	送迎時に様子を伺ったり、こじろうでの様子を伝えて情報共有しています。
	㉙	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	どちらもでない	ペアレントトレーニングという仰々しいものではないが、必要に応じてご家族と話す機会を設けています。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	○	契約時におこなっている。変更になった場合はその都度案内をしています。
	㉛	家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	必要に応じて行っています。今後も続けていきます。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、家族同士の連携を支援しているか	いません	ひとりの利用者がいろいろな放デイを利用されているため、1事業所だけで行うのは難しい状況にあります。放課後等デイサービス連絡協議会で協議するのが望ましいと思われます。
	㉝	子どもや家族からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや家族に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	迅速に対応できるように心がけています。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子どもや家族に対して発信しているか	○	法人全体の通信（年4回）、毎月送付している予定表に活動紹介を載せている。ブログは頻回に更新しています。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○	契約時守秘義務契約書を取り交わし、職員にも守秘義務を徹底しています。
	㊱	障害のある子どもや家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	ひとりひとりに合わせた意思の疎通を図っています。ご家族には電話や書面・メール等でお伝えしています。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営をしているか	×	今年度はコロナ禍の中、行事の開催参加ができませんでした。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や家族に周知しているか	どちらも言えない	作成したものを周知できていません。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をおこなっているか	○	半年に一度おこなっています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止の研修に参加したり、職員研修で取り上げています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや家族に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	該当する方には説明し、個別支援計画記載、同意書をいただく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	非該当 (事例無し)	食物アレルギーのある子の利用がある時は家族の指示または医師の指示書に基づいて対応します。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	担当者会などで報告し、対応策の考案、共有をしています。